

2013年度「研究部会活動記録」

部会主任名	土屋 礼子	現代政治経済研究所
研究課題： 戦後日本の科学ジャーナリズムの経験知		
月/日	活 動 記 録	
4月～5月	研究体制の年間のスケジュールを策定。戦後日本の科学ジャーナリズム史に関する文献を収集する。インタビュー調査に先立ち、土屋ゼミで科学ジャーナリズムに関する英語文献（F.Badenschier and H.Wormer, Issue Selection in Science Journalism、2012）を講読。また、瀬川、中村理、田中幹人、各先生が土屋ゼミで科学ジャーナリズムについて講演する日程を決めた。	
6～7月	土屋ゼミで日本語文献として『環境メディア論』（2001）および『「水俣」の言説と表象』（2007）を講読。また、インタビュー調査をする対象者を、瀬川先生および日本科学技術ジャーナリスト会議の元会長である武部俊一氏とともに打ち合わせる。70歳以上の科学ジャーナリストについてリストアップした名簿を元に、対象者に連絡を取り、インタビュー調査を依頼し、最終的には25名の方から承諾を得た。	
6月25日	瀬川先生が日本の新聞社における科学部について土屋ゼミで講演。	
7月2日	田中幹人先生が、科学コミュニケーションのあり方について土屋ゼミで講演。	
7月23日	中村理先生が、科学者からみたメディアについて、土屋ゼミで講演。	
7月30日	インタビュー調査の準備と夏休みの課題について説明。	
8月	土屋ゼミの学生は、課題として、横浜の放送ライブラリーで、科学ジャーナリズムに関係するテレビドキュメンタリー番組を視聴。	
9月10～11日	土屋ゼミの合宿を軽井沢セミナーハウスにて実施。ジャーナリスト人物研究、科学ジャーナリズム史事項研究などを学生が発表した後、インタビュー調査の担当者の組み合わせを発表し、インタビュー調査の段取りと注意事項を説明した。	
10月～11月	学生二人一組でインタビュー調査を実施。	
12月～1月	インタビューの文字起こし、およびインタビュー原稿・要旨の作成	
2月	インタビュー調査報告書原稿の完成、および印刷製本業者への入稿。（全338頁）	
3月24日	インタビュー調査報告書（160部）の印刷製本完成。	
3月末	インタビュー調査報告書の協力者及び関係者への配布及び郵送。	
来年度の活動計画	4月～6月 科学ジャーナリズムに関する内容分析を土屋ゼミで実施。 7月中旬 ワークショップ「戦後日本の科学ジャーナリズム」開催予定。 12月 瀬川ほか『環境問題とメディア・アジェンダ』出版予定。	
終了の場合	研究成果刊行の時期：2014年3月（刊行済）及び12月（予定） 研究成果の公開方法：報告書および書籍刊行	